

第222回一関市教育委員会定例会 会議録

1 開催日時

開会 令和3年6月23日（水）午後1時30分

閉会 令和3年6月23日（水）午後3時10分

2 会議の場所

一関市役所会議室棟第4会議室

3 出席者

教育長 小 菅 正 晴

委員 千 葉 和 夫

委員 佐 藤 一 伯

委員 伊 藤 一 志

委員 桂 島 加奈子

4 会議に出席した関係者及び職員

教育部長	菅 原 春 彦
一関図書館長	黒 川 俊 之
教育部次長兼教育総務課長	及 川 和 也
教育部次長兼学校教育課長	菅 原 正 樹
教育部次長兼文化財課長兼骨寺荘園室長	千 葉 浩
一関市博物館次長	佐 藤 光 俊
いきがづくり課長	伊 藤 信 子
教育総務課庶務係長	細 川 圭 子（記録）

5 議題及び議決事項

議案第16号 職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

議案第17号 一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

6 報 告

(1) 行事報告及び行事予定について

7 その他

- (1) 令和3年度学校教育行政の重点（ことばの力を育てる教育）
- (2) 令和3年度一関市内小中学校運動会及び修学旅行実施状況
- (3) その他

8 会議の議事

○教育長 ただいまから第222回一関市教育委員会定例会を始めます。
議事に入ります。

議案第16号 職員の懲戒処分に関し議決を求めることについて

○教育長 議事日程第1、議案第16号、職員の懲戒処分に関し議決を求めることについてありますが、私のほうから非公開について発議いたします。

本日の案件は、懲戒処分に関する人事案件でありますので、公開しないことを提案します。

公開については3分の2以上の多数で議決したときは公開しないということができませんので、皆さん方からそれについての可否を取りたいと思います。

それでは非公開について、同意なされる方は挙手願います。

ありがとうございます。それでは全員一致で非公開ということにいたします。

(非公開)

○教育長 非公開を解きます。

議案第17号 一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて

○教育長 それでは、議事日程第2、議案第17号、一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて、事務局から提案願います。

教育部長。

○教育部長 議案第17号、一関市博物館協議会委員の任命に関し議決を求めることについて、提案理由を申し上げます。

博物館協議会委員の任期が、令和3年6月30日で満了することから、委員を新たに任命しようとするものであります。

補足説明を博物館次長から申し上げます。

○教育長 博物館次長。

○博物館次長 (説明)

○教育長 それでは、博物館の協議会委員に関して、皆さんから質問等ありましたらお願いいたします。

佐藤委員。

○佐藤委員 こちらの協議会の活動としまして、会議等が開かれていると思いますけれども、どのぐらいの回数で、どのようなことをご協議されているのか教えていただきたいと思えます。

○教育長 博物館次長。

○博物館次長 博物館協議会の開催は年に2回で、大体7月と2月に開催しているところでございます。会議の内容につきましては、7月については、前年度の博物館事業の報告と、当該年度の事業の中身について、2月については、当該年度の事業についてと翌年度の事業計画について協議いただいているところでございます。

○教育長 そのほか、いかがでしょうか。

私からですが、今、佐藤委員からご意見ありましたが、私もこの会議には出席しておりまして、いろいろなジャンルの方からいろんなご意見、建設的な意見がたくさん出される、そういう会議だというように思っております。

私のほうから質問ですが、今回は全部で15名ですが、15名のうち新しい方を教えてください。

博物館次長。

○博物館次長 資料の4番目の刈谷晋氏、7番目の千葉幸子氏、下から2番目の佐藤浩氏の3名が今回新しく任命された方です。

○教育長 番号があつたほうが良かったですね。

私から追加ですけれども、そうすると今回はこの15名のうち、女性は4名ですね。前回より1名増えたという形でしょうか。

博物館次長

○博物館次長 そのとおりです。

○教育長 そうすると女性が1名増えて、全部で15名のうち4名です。女性の視点で、博物館を見ていただくことは非常に大事なことだと思いますし、実は市の審議会とか協議会等、女性委員を増やしていこうということになっておりまして、もともと多いところはいいのですが、非常に少ない組織もあるものですから、それを少し増やしていこうという動きになっていまして、その方向には合致するものではないかなというように思います。

その他、皆さん方から質問とか意見はないですか。

千葉委員。

○千葉委員 質問です。一番下に家庭教育代表の方がいらっしゃいますが、この家庭教育代表がこの会に入るようになったのは、何年ぐらい前からなのか、あるいは選考するにあたって、どういう基準で選んでいらっしゃるのか、お聞かせいただきたいと思います。

○教育長 博物館次長。

○博物館次長 古舘美代子氏につきましては、たしか8年前からだと思います。

○千葉委員 古舘さんに限らず、家庭教育代表が入るようになったのはいつ頃なのかというところをお聞きしたいのです。

○博物館次長 最初からです。

○千葉委員 最初からですか。了解しました。

○博物館次長 選考方法につきましては、古舘美代子氏につきましては、中学校と高校のお子様いらっしゃいまして、PTA活動なども熱心な方でございます。家庭教育実践者ということで、今回推薦があったところでございます。

○教育長 そのほか、よろしいですか。

それでは採決を取りたいと思います。

議案第17号、博物館協議会委員の任命に関して、賛同の方は挙手願います。

満場一致で可決されました。

なお、今度の7月に総合教育会議が博物館でありますので、委員さん方ひとつよろしくお願いたします。

その際に、博物館の中の部分を実際に見ていただくとか、あとは議論の中で、博物館に関する部分の理解が私たちも深まるのではないかなというように思っておりますので、よろしくお願いたします。

報告(1) 行事報告及び行事予定について

○教育長 行事報告を私のほうからさせていただきます。

前回の教育委員会会議は5月25日でありましたので、それ以降、今日までのところの行事報告をさせていただきます。

5月25日、教育委員会会議の日でしたが、室根地域の統合小学校の整備推進委員会がありました。室根の今の進捗状況は、建設工事に入り始めました。杭基礎工事がいろいろ構造上の問題があって長引きまして、建設工事が遅れてスタートしました。

来年の4月25日までの工期でありますので、5月に引き渡し、そしてそのあとに引越しがあって、多分6月ごろに開校式になるのではないかなというように思われます。

その予定については今後検討いたしますが、4月から6月あたりまでの期間は室根東

小か西小にとりあえず子供たちに入っていたかと、そういう期間になりますので、どちらの学校に入るのかということについては、今後、実際に学校を見たりしながら支所を中心に判断をさせていただきます。事務局のほうでも行って、そこは確認させていただきたいと思っております。

5月26日、一関市奨学生選考委員会の2次募集の分がありました。奨学生は令和3年度分になりますが、数年前から、早めに選考を行うことにしております、一次の選考は1月29日に行っておりまして、今回は2次の募集についてでした。今回は高校生2名、大学生17名の方から申請がありましたので、これについて検討したところであります。

5月30日、骨寺村荘園お田植え会がありました。恒例の行事であります、例年は小中学生とか岩大生などが来てやっていただいたのですが、今回はコロナの影響ということで、今話した方々には案内せずに、地元の方々中心で、特に市役所の方々も参加していただきまして、行ったところであります。

第10週、31日、市立幼稚園関係の協議を行いました。あえてここに触れたのは、市立幼稚園について、前に報告しましたが3歳児の入園者が、今年度市内全部で36名でありました。8園に対して36名で、どの園も10名を下回る一桁の入園者でありましたので、昨年度と比べると31名の減少で、全部で年少年中年長までで179名が、幼稚園で学ぶ形になっております。ただそういう状況でありますので、今後、まずは事務局内で、幼稚園の統合について、検討に入りたいというように思っております。

今、軸にして考えているのは、市役所から見て西の地域と東の地域をある程度基軸にしながら、その中でどのようにしていくかを今後検討しようかなというように思っているところであります。今後もう少し方向性が見えてきた段階で、皆さん方にもお示ししたいというように思っております。

6月2日、千葉胤秀関係の副市長協議がありました。前にも何回か協議をしていたのですが、千葉胤秀の旧宅関係です。文化財としては、それなりの価値が非常にありますが、屋根に穴が開いていたり、もともと古いことは古いのですがそこに、かなりのほころびが出ていますのでどうにかしなくてはいけないという議論が出ておりました。ただ、ここに来て、千葉胤秀旧宅については、経費がかなりかさむということがわかってきて、2億を超えるのではないかなというようにだんだん分かってきました。千葉胤秀旧宅は、市の文化財指定になってはいますが、県の文化財指定やもちろん国の文化財指定にもなっていない関係で、結局市の全くの単費の持ち出しなわけで、これで2億というのが果たして議会とか市民から同意が得られるかという部分が、もう少し検討しなくてはいけないということで、副市長協議を行ったところであります。

そこに来て市長の今期での退任の意向が示されましたので、こういうことを踏まえて、

もう一度対応については検討し直すことが必要になってきているという状況であります。

同じ日、岩手県体育大会並びに岩手障がい者スポーツ大会の結団式がありました。今年度も実施する予定です。一関市からは21種目に546名の選手団が参加する予定であります。日程はそれぞれ競技によってバラバラになってはいますが、8月ごろまで続く予定であります。

6月5日、いちのせきITキッズ育成プロジェクトの第1回目がございました。昨年からのITキッズの育成プロジェクトを行っておりまして、今年度も昨年度と同じく全部で7回シリーズで、主にプログラミングを中心に学ぶ機会を作る予定であります。この第1回では、ICT指導員が中心になって行うのですが、そこに今年度から入っていますICTサポーター4名も加わりまして、スタッフが充実した中で今後のプロジェクトが進むということであります。子供たちも非常に生き生きとして、手挙げ方式でやっていますので、意欲を持った子たちが集まっています。今回は45名と言いましたが、応募したところそれ以上の人数が集まりまして、抽選せざるを得なかったところでもあります。

6月6日、岩手県中学校陸上一関地区予選並びに全国小学校陸上競技交流大会の予選を兼ねて、大会を行ったところでもあります。コロナ禍でしたので、若干、例年よりは選手は絞り込んでの実施ということになりました。開会式にも出させていただきましたが、例年であれば、選手団が並んだところに、私たちが並ぶのですが、今回は選手団がいないところで、主催者と来賓だけが並ぶという中で、グラウンドに向かって、私も一言「頑張ってください」と話したところです。

陸上競技協会さんにも協力していただいて、実施できるというのは素晴らしいなというように思いました。

6月10日、一関市の図書館協議会がありました。年3回ほどやっている協議会であります。先ほど博物館の協議会の話がありましたが、同じように図書館についても市全体の協議会が行われております。このほかに、図書館の場合は8つの図書館でそれぞれが協議会を持っているという形ですが、今回ののは市全体に関わる協議会でありました。

昨年度の総括と、今年の計画を説明していただきましたが、昨年度の部分では、やはりコロナ禍で入館者数も減っている状況であります。入館者数は、一関図書館を例にすると例年比67%という減ですし、貸出者数も80%ということで、減少しているところではありますが、それでもずっと開いていただいていますので、市民にとっては非常にありがたいのではないかなと思います。

同じ日、大東地域中学校統合の推進委員会がありました。第1回目であります。皆さん方にも様々協議していただきましたけれども、統合の1年前倒しが地域から合意を得られましたので、こういう形で、今度は統合推進委員会で具体的な部分が進むということに

なりました。

推進委員は全部で63名であります。委員長は小原雪男元大東中校長ですが、地域でもいろいろ役職を担っている方です。副委員長は、鈴木功副委員長。前の教育委員長であります。あとは及川光正元大東所長が副委員長ということで、委員長、副委員長の3名が選ばれました。それから4つの部会を作って、学校経営部会、校名校歌部会、教育環境整備部会、通学対策部会という4つの部会を作って、いよいよスタートということになったところであります。

11日、教育民生常任委員会がありました。議会の教育に関する部分の小委員会ですが、今回は大東地域の中学校統合の前倒しの件、それから、新沼小学校の複式解消に向けた要望が出されたという件、それから新花泉小学校の建設についての件について、校舎図面等を見せまして説明しました。それらの件について、教育民生常任委員に説明したところでもあります。ちなみに、花泉小学校の部分につきましては、今年度、これから杭基礎工事になる予定であります。この議決は、今の議会の最終日、金曜日に行われる予定であります。それを経て、杭基礎工事がスタートとなります。そして、校舎の建設は、今年の12月頃からスタートして、来年の12月まで大体1年かけて校舎が建設されるという予定であります。プールとか外構は、令和5年度あたりまで、開校後までかかりますけれども、そういった予定で進めております。

なおご心配いただきました杭につきましては、室根の杭はパイプを地面に差して、コンクリートを上から流し込んで抜き取るという杭工事でしたが、花泉の杭工事はもともとできた鉛筆型の杭を打ち込んでいくという従来型のやり方でやりますので、この杭工事が長引くということは多分ないのではないかなというように思っております。

6月15日、市議会が始まっております。

6月16日、副市長就任式がありました。前の副市長、佐藤善仁副市長が、急遽、自己都合で退任いたしまして、新しい副市長を、今の市長が任命しました。石川隆明副市長です。この方は、これまで市長公室長をやっていたので、市の行政の中核にいた方ですが、新しい副市長として任命されております。この間の動きは、現市長の退任の意向表明に基づいて、ここからは私の推測も入っていますけれども、退任の意向表明に基づいて佐藤善仁前副市長が自ら退職したという形です。その辞任の後に、今度は市長が石川新副市長を任命したという形になります。

今後、市長選も行われると思いますので、いろいろな部分で、市政については変更が出てくる部分もあるかなというように思います。

教育委員会も、これまで進めてきた事業は、基本的に独立した行政機関ですから、やっていくことにはなりますが、ただ、特に予算などの部分では、市長に了解をもらわないと

進められないという構造ですので、当然影響はそれなりの部分では出てくるのではないかなというように思われます。

17日、市議会の一般質問が始まっております。この議会は、今週の金曜日までの予定です。

18日、一関地域教育振興運動推進協議会の総会がありました。いわゆる教育振興運動、岩手独自の教育振興運動であります。これは一関地域の総会でありました。

私も主催者の1人として参加しておりますけれども、昨年度の総括と今年度の計画等の会議でありました。今年度は萩荘地区が、実践区として発表の予定になったものであります。

なお、学校運営協議会、いわゆるコミュニティスクールとの関係で、市内の小中学校何校かで次年度から試みるという形になっておりますので、その関係で教育振興運動との繋がりというのは今後ますます出てくるのではないかなというように思います。

行事報告は以上です。

行事報告について何かご質問ありますか。

教育部長。

○**教育部長** ただいま教育長の説明の中で、室根小学校の地盤工事の中でパイプを据えつけてというようなお話ありましたが、厳密にはプロペラ型の先で土を崩しながら掘り進めて、パイプ状に空けた中に土がある状態にセメントをまぜながら、逆回転で抜いて行って固めるというような工事になりますので少しだけ、訂正させていただきました。

○**教育長** 訂正させていただきます。

桂島委員。

○**桂島委員** そのやり方だと時間はかかるのでしょうか。掘り進める深さにもよりますが、できた杭を打ち込むよりは、掘り進める分と流す分と戻ってくる分ということで時間はかかるのでしょうか。

○**教育長** 教育部長。

○**教育部長** 花泉小学校では既製品の杭を打つわけですけれども、本数的には室根のほうが多かったのですが、工期的には室根のほう短い期間で済むことができたようです。

○**教育長** 本来は短い期間で済む予定だったのが、結局、中の構造がやわらかい構造でなかったために、プロペラを嚙んでしまって回転しなかったというのが実態ですね。

教育部長。

○**教育部長** 中の砂が非常に乾燥しておりまして、プロペラで押したことによって、固まってしまってそれ以上プロペラが入らなくなってしまって、特殊な液体をまぜながら、プロペラを回転させて掘り進めていったというようなことで、当初の日程よりはかなりかか

ったということでもあります。

○教育長 ついでに聞きますけれども、室根のやり方と花泉のやり方の違いというのは、直接杭を上からドンと打ち込むわけですから、その部分の環境への配慮というのが、今の室根の中学校もある中でそれをやるわけにはいかないというのが1番大きな理由ですか。あるいは土質に合ったやり方ですか。

教育総務課長。

○教育総務課長 今回は、室根では深さが20mということで、既製品の杭では、そういったような長さがないというのが1番の理由です。

○教育長 花泉のほうが浅いのですか。

○教育総務課長 花泉は5mから9mなので、既製品の杭で大丈夫でした。

○教育長 普通に考えれば室根の方が岩盤なので、短くて済むはずで、花泉は田んぼなのでいっぱい杭を打たなくてはけないと思うのですが、実際は逆だったと。それは専門家の判断によるところであります。

その他に、行事報告について質問はありますか。

伊藤委員。

○伊藤委員 基本的な質問で、私自身よくわかっていないのですが、教育民生常任委員会という組織は、私たちが教育委員会でいろいろ決定したのものについても、更に常任委員会に諮る必要があるのでしょうか。その中身について教えてください。

○教育長 教育部長。

○教育部長 教育民生常任委員会につきましては、教育委員会の立場とすれば決定した事項であるとか、今このような状況にあるというような説明をする立場で行っておりまして、そこで承認を得るとか、そのようなことではありません。

最終的な議決が必要なことにつきましては、議会の本会議で決定いただくというようなことですので、あくまでも情報提供というような趣旨の委員会になります。

○教育長 伊藤委員。

○伊藤委員 それではここで報告した際の反応というのはどうなのでしょう。

○教育長 教育部長。

○教育部長 案件によっても違うところではありますが、大方については、賛同いただく部分がありますし、あとは、教育民生常任委員は、教育民生常任委員会で説明したものに対して本会議で質問することは稀でありまして、委員さんからは、より理解を深めるために、委員会で様々なご質問等いただいているところでもあります。

○教育長 ちなみに、全部で8名で、様々な会派から成っております。基本的には教育委員会議であることが教育委員会の最高の議決機関なのでありますが、ただ予算を伴うもの

とか、市長部局から補助執行しているものなどは、どうしても議会の了解を得ないと執行できないものもかなりありまして、それは市長を通じて議会に提案して決定しています。

例えば、今度の統合なども、教育委員会としては統合の方向性を出すのですが、最終的に名前とか住所など、設置の条例を変えなくてはいけないので、それは市長の権限になるので、市長が議会に提案するという形をとります。その時に、いきなり本会議ではなくて、理解をより深めてもらうという意味で、常任委員会に説明してきたという部分があります。

私達にとっても、議会の雰囲気をつかむという意味では、議員の立場からの意見をいただくということは意義があると思います。

伊藤委員。

○伊藤委員 ということは、例えば私たちの定例会は月1回ですが、常任委員会は、不定期で、必要であれば何回か開くということですか。例えば6月11日に開いて、更には18日にも開いたと。議題によっては2回も3回も開くということはあるのですか。

○教育長 教育部長。

○教育部長 常任委員会につきましては任意の日の開催となっております。ただ教育民生常任委員会が所管している部署は、教育委員会のほかにも保健福祉部や市民環境部もありますので、便乗してやったりして、なるべく招集回数を減らせる形で開催しています。

○教育長 いきなり全部議会の中でいろいろなことを揉むのは、時間的に無理なので、そういう常任委員会というのを全部で4つ作ってやっています。

例えば6月18日には、教育民生常任委員会の教職員定数改善の請願というのが市民から出されたのですが、この請願を審査するのは議会の役割なので、ここで審査して、最終的に本会議で審議されるものと思います。結論は私たちはわかりませんが、そういった役割を担っているのが常任委員会ということでもあります。

その他、よろしいですか。

それでは行事予定につきまして事務局からお願いします。

教育総務課長。

○教育総務課長 (説明)

○教育長 それでは最初に、次回の教育委員定例会について、7月21日の予定ですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ではよろしく申し上げます。午後1時半から3時半の予定です。

その他、行事予定についてご質問ありますか。

それでは、先に進みます。

その他(1) 令和3年度学校教育行政の重点（ことばの力を育てる教育）

○教育長 (1)令和3年度学校教育行政の重点（ことばの力を育てる教育）につきまして、これは毎回やっておりますが、ひとつずつ短く説明させていただいているものです。

学校教育課長。

○学校教育課長（説明）

○教育長 今の説明について、質問ありますでしょうか。

佐藤委員。

○佐藤委員 先日の総合訪問で、言葉の時間を拝見させていただきまして、今後、入園児の数は減っているとはいえ、少人数であっても、大事な言葉の時間を学ぶお子さんが、それぞれの小学校に入られて、各小学校で中心的に様々な活動をしていただくことによって、そのような幼稚園での取り組み、また小学校での「言海」を使った学習につきましても非常に実績を上げてきているのではないかと考えております。

読書について、小中学校、特に中学生になると読書時間が減っているということもございまして、幼稚園、小学校に比べて、中学校での取り組みをもう少し充実させることができたらいいのではないかとこのように思っております、様々なキャリア教育や、様々な取り組みの中で時間を確保することが大変だというようなことも、伺っておりますが、何かしらのアイデアをご検討いただくといいのかなと思います。

○教育長 ありがとうございます。

ご意見として、何かございますか。

学校教育課長。

○学校教育課長 なかなか中学校になると部活とか勉強が忙しくなって、時間を上手に使うことができない状況が見られるのですが、いくつかの中学校では、一斉の読書時間というのを短時間だけでも設けている学校もあって、全く取り組まないのと、ちょっとでもみんなで読書に、5分でも10分でもやれるところから、きっかけを作ることで、本に親しむ子どももいるということを知っているから、学校で少しそういうきっかけを作ることも取り組んで、広げていければいいのかなと考えております。

○教育長 その他、よろしいですか。

桂島委員。

○桂島委員 上のほうの「ことばと読書」というところに小中学生の1日当たりの読書時間（月～金）があつて、先ほどお話しがあったように、学校ごとで朝読書の時間を設けている学校もあるのですが、今の話だと、5分くらいだと10分以上に入らないでしまうのだと思うのですが、これは学校と家庭時間も合わせての読書時間と考えてよろしいのでしょうか。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 この調査は、岩手県の学力テストの時に、普段の生活での質問があつて、その中の「あなたの1日当たりの読書時間は」ということなので、基本的に子どもたちの意識としては、家での読書という部分を考えて答えている子どもたちが多いかと思います。学校でやっている部分になると、かなり入ってくると思うのですが、ただ一関市内の小学生においては、言葉の時間と、百マス計算というモジュールをやっている関係で、他市町では一斉の朝読書をやっている学校もあるのですが、実際には、学校の中で一斉にモジュールの短い時間で読書をしている部分は、少なくなっているのでは、一関市の場合は、恐らく純粋に家での読書時間というあたりの捉え方であると思います。

○教育長 その他、よろしいでしょうか。

それでは、あと15分か20分ぐらいで終わると思うのですが、その他の(3)の前に一旦休憩させていただきます。

(休憩)

○教育長 それでは再開いたします。

4のその他の(2)令和3年度一関市内小中学校運動会及び修学旅行実施状況につきまして、説明願います。

学校教育課長。

○学校教育課長 (説明)

○教育長 何かご質問ありますか。よろしいですか。

次に(3)その他に入りますが、事務局から新花泉小学校の建設にかかる状況につきまして、説明願います。

教育総務課長。

○教育総務課長 (説明)

○教育長 イメージがわくのではないかと思います。何かご質問等ありましたらお願いします。

佐藤委員。

○佐藤委員 こちら建設の概要は、統合推進委員の皆さんもご覧になっていらっしゃると思うのですが、その反応はいかがでしょう。

○教育長 教育総務課長。

○教育総務課長 こちらは設計に至る前の基本設計の意図段階から、推進委員会のほうで揉んでもらっていただいて、その意見を反映させて、最終的にこういうデザインになったというところで、推進委員会のほうでも確認していただいております。

2階の「学びの互市通り」についても、推進委員会のほうで意見があったものを反映させて、このようなデザインになったところです。

○教育長 その他、いかがでしょうか。

桂島委員。

○桂島委員 新しい小学校の駐車場について130何台というお話だったのですが、運動会等があった場合には全校生徒の数に見合わないと思うので、どうするのかなと思ったのですが、近くに花泉中学校もあるので、一関中学校のとか南小学校もそうなのですが、中学校の駐車場を貸してもらえるとということなののでしょうか。心配なのは、駐車場がなくて近隣の住民の方たちにご迷惑をかけることはないのかなと思ひまして。

○教育長 教育総務課長

○教育総務課長 プールについても中学校の授業でも使うといことなので、中学校、小学校、図書館、これらが連携して活用するという施設になりますので、そういった行事の際には、小学校の行事の場合には中学校の駐車場も使うし、中学校の行事の場合には小学校の駐車場も使うということで活用して行きたいと思ひます。

○教育長 そして向いににコメリや薬王堂もありますので、場合によってはそこに交渉するという可能性もあります。

○桂島委員 それが問題にならなければいいのですが、コメリさんや薬王堂さんからご指導がなければいいのですが。

○教育長 借りる場合は当然直接行って、交渉して了解を取って使うというパターンはあると思ひます。そうでなければ、そこは駄目ですよという形で、アナウンスをすると思ひます。

その他、いかがでしょうか。

私も行ったのですが、かなり位置が高いですよ。北のほうの田んぼと比べてどのくらい土盛りしたのですたでしょうか。1 m以上でしたね。2 m以上でしたでしょうか。近くを通った時かなり高いなと感じまして、多分2 m以上はあるのではないかと思ひますので、金流川があふれた時の心配もされた方もありましたが、あのくらい高ければ、多分大丈夫だろうなという感じがありました。

あとよく話題に出たのが、その北の方向のコメリとか薬王堂とか図書館側の十字路交差点が、子どもも通ってくるし、中学校からもプールの時に来るので、その部分の交通安全についてということで、いろいろ心配される方はいましたけれども、今の段階は信号はないけれども横断歩道はあるのですね。ここに押しボタン式の信号ができるのかどうか、そのあたりは今後様子を見ながら、警察等との相談がなされていくのではないかと思ひます。

それではよろしいでしょうか。

これについては以上です。

それでは(3)その他について、他にありますか。よろしいですか。

では、委員さんの方からお願いします。

伊藤委員。

○伊藤委員 ひとつだけお願いしたいなと思うことをお話しさせていただきます。今、市職員に対してもそうですし、公務員に対してもそうですけれども、市民の目はかなり厳しいということで、教職員に対してもそうですが、不祥事が多くて、新聞紙面を賑わす時にはまたかと思うことがあります。どこの団体でもそうなのでしょうけれど、この間、一関市柔道協会で審判講習会があって、コンプライアンスについて講師をさせていただきました。なぜこういうお話をさせていただくかということ、冒頭にありました市職員の懲戒処分について、もう1回法令遵守、ルールに対して厳しい目を向けて、自分を見つめ直して、私達の行動が正しいかどうか、自戒していかなければ駄目ではないかなと思います。そうでないと同じようなことを繰り返してしまったりして、つまり最終的には民事裁判から刑事裁判に至るような事件に繋がってしまう。今はネットで広がるような形ですよ。私達の不祥事とかは面白おかしくマスコミで取り上げられて、私たちが窮地に陥ってしまう。ですから、コンプライアンスに関して大切なのだなと思ったならば、再任用の職員に対しても、冒頭に、コンプライアンスの推進にあたっての、講話などを行って、意識づけをされたらいいのかなということを考えましたし、教職員に対しても改めてそういうことは必要なのだということを、私自身も言いながら確認したということをお話ししたいと思います。

○教育長 ありがとうございます。せっかく、各課の課長さん方がおりますので、そういった部分が、教育委員会議の場でも出たということで、ぜひ話をさせていただきたいと思えますし、学校教育課長のほうからは校長会の折に、年5回の会議で毎回コンプライアンスについてはしゃべっていただいておりますが、特にも事例を基に、例えばこの間の車検切れのこととか、発電機を転売するというのは教員の場合はできないとは思いますが、別の案件でそのようなことにならないように、事例を基に話していただいて、抑止につながると、意識改革につながるということは非常に大事だと思いますので、ぜひよろしくお願いたします。

その他、皆さん方からありますか。よろしいですか。

それでは、以上で第222回一関市教育委員会定例会終わります。